

進路だより



富岡特別支援学校

移行支援部 No. 2

令和8年9月3日(木)

PTA進路研修会「本校卒業生とご家族の話を聞いて、将来へのイメージを広げよう」がありました。

講師に本校卒業生と、卒業生のお母様お二人にお越しいただき、これまでから現在の生活、将来のために備えていることなど、詳しくお話ししていただきました。一部をご紹介します。

学生時代の思い出

- ・高等部は、同学年だけでなく、他の学年とも関わりのある学校だったので、クラスだけの空間でなく、全学年での空間で、誰とでも仲良く交流を深められる時間が長くて、どんな授業も楽しかったです。
- ・「てんかん」で幼少期から病院通いや、食事や行動の制限があり大変でした。発作が起こる前後などはコントロールしにくいのか、いつもはしない行動をとったりします。学校では友達と一緒に行事に参加したり旅行へ行ったりできて嬉しそうでした。
- ・小学校までは、嫌な思いをして学校へ行きたくない思いをしましたが、何とか卒業まで頑張りました。富特の中高ではお友達も大勢できて楽しく過ごせました。



現在の仕事や利用している事業所について

【パーソルダイバース株式会社 とみおか繭工房 富岡倉庫】

- ・月曜～金曜 10:00～17:00。徒歩で通勤しています。
- ・アクセサリーのデザインや作成をしています。アクセサリーのデザインを考えて、担当者の会議で提案します。組立てのみを担当する人がいるので、担当の人たちが作業しやすく、予算内でできるデザインを考えます。その人によって難しさが違うので、自分だけの判断にならないように、会議で話し合います。
- ・細かい仕事が好きなので、完成した時に達成感があります。作業面では自分に向いていると思いますが、対人面では苦労しました。学生の時と違って、ずっと年上の人ばかりなので、社会人として、どうコミュニケーションを取っていいか、どのタイミングで話していいか、分かりませんでした。言葉選びや言葉遣いについて、「この人の言い方、いいな」と思った言葉を自分に取り入れて、話すようにしています。



【クライスハイム前橋力丸町（日中サービス支援型共同生活援助）】

- ・卒業後、二つの生活介護事業所、一つのグループホームを経て、現在の事業所を利用しています。
- ・転居した時は騒ぐ事はなかったですが、表情は暗かったです。今は楽しく過ごしている様です。週3日の訪問看護と月1回訪問医療で健康観察をしてもらっています。大体月2回、通院の時に帰宅しています。

【社会福祉法人青嵐会 せいらん（就労継続支援B型）】

- ・月曜～金曜通所。土日休み、祝日も通所。送迎サービス利用。
- ・仕事内容は、製品の袋詰め、ペンの部品の組立てなど。作業以外は、合唱や合奏の音楽活動。
- ・終日立ち仕事なので、仕事では慣れるまでは、足が痛くてすぐ疲れてしまいましたが、今はよく頑張っており取り組んでいます。お給料を頂いて好きな物を買うことが、仕事をする意欲につながっています。



障害基礎年金について

- ・受給しています。給料と年金の範囲内で生活するようにしています。
- ・知的障害なので、保護者が書く申立書は、誕生から書かなくてはならないことが大変でした。分からない事は福祉課や年金課の人に聞くとよいと思います。



親なき後に備えていること

- ・今の、家族とのよい関係を続けていくために、自分で家を出ようと決意して、アパートでの一人暮らしを始めました。仕事から帰った後、家事をするのは大変ですが、頑張っています。
- ・早い時期に家を出て家族以外の人の力を借りながら生きていくこと。
- ・相談支援員や事業所の方に相談し、どんなグループホームがあるかなど教えていただく。
- ・兄弟姉妹に大変にならない程度で託す。



困った時に頼ったり相談したりしている人や、利用しているサービス

- ・はじめに家族に相談しています。そのほかに、病院の先生に相談します。
- ・仕事については、会社の方や、障害者就業・支援センタートータスの担当の方に相談しています。
- ・病気の事は、主治医や訪問看護・訪問医療の方に相談しています。



在学中のお子様がいる保護者の皆様に向けたメッセージやアドバイス

- ・富特の3年間は思い出に残っていて、仕事やいろいろなことでくじけそうになった時でも、同級生の仲間や先生の言葉などを思い出すと、頑張ろうという気持ちになります。高等部生活は貴重な3年間なので、楽しんでください。
- ・親から離れて暮らす事が早い段階から出来た方がいいかなと思います。親が動けるうちに子の暮らす場所を見付けてほしいです。親もこれからの人生を安心して楽しく過ごして欲しいです。後ろめたい事はないと思います。
- ・これから社会に出るにあたってつらいことや大変なことがたくさんありますが、あきらめずに取り組める事が子供達に必要なだと思います。無理に押し付けるのではなく、子供本人が本当にできる事をさせてあげるのが一番続けられると思います。仕事（働き方や内容）もいろいろあるので、その中で子供本人が“やりたい”と思うところが見付けられればと思います。

参加した保護者の感想

- ・私も自分が元気なうちに早く備えようと思いました。やはり経験者の話は身につまされると感じました。
- ・3名のお話、とても分かりやすく参考になりました。お話して下さってありがとうございます。自分の子のケースと似ていると感じ、近い将来を具体的に想像することができました。
- ・卒業生の現状や、家族の話を聞いて、親なき後に備えて自立できる環境を整えていくことの大切さを知るよい機会となりました。



PTA進路研修会「障害基礎年金について」では、高崎年金事務所お客様相談室 石井様から、障害年金ガイド（パンフレット）を基にしたご説明をいただきました。

障害年金が支給される障害の状態に応じて、障害の程度（障害等級1・2級）が定められています。等級判定は、単身・支援なしで生活した場合を想定して専門医が総合的に判断します。療育手帳の等級は、年金の等級に直接的な影響はありません。

障害基礎年金（1級）
1,059,125 円
(昭和35年4月1日以前に生まれた方)
1,056,125 円

障害基礎年金（2級）
847,300 円
(昭和35年4月1日以前に生まれた方)
844,900 円

「障害年金＝生活の基礎的な収入」 今から準備できること

- (1) 診断書を書いてくれる医療機関を探しておきましょう。一番よいのは精神科ですが、予約しても半年以上待つことがあります。かかりつけの内科等で書いてもらうことも可能なため、相談してください。
- (2) 日常生活の様子をメモしておきましょう。診断書作成の際、医師が参考にすることができます。メモする場合は、等級判定ガイドラインを意識することが大切です。